

中津小学校プール床 改修工事 設計図

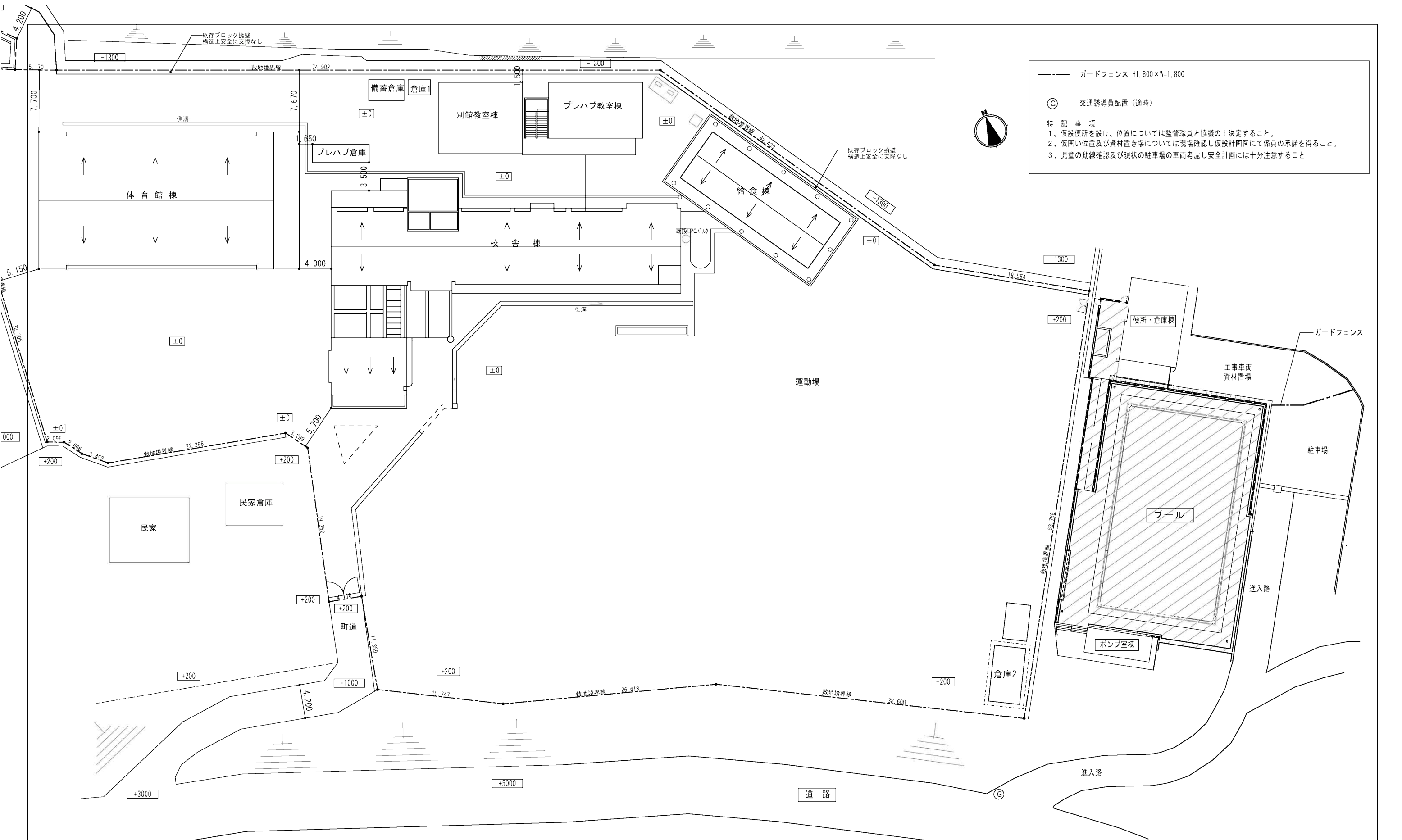
	建築工事（改修）特記仕様書 最終改定：令和6年8月1日						
I	工 事 概 要 1. 工事年度及番号 令和 7 年度 第 号 2. 工 事 名 中津小学校 プール床 改修工事 3. 工 事 場 所 和歌山県日高郡日高町日高川町船津1500 4. 工 事 理 目 構造 RC造 階数 平屋建 延面積 m 建築面積 m 5. 工 事 内 容 プールサイド床面改修		10 電気保安技術者 (1.3.3)	3節 工事現場管理 電気保安技術者の配置 ・配置する ○ 配置しない	23 火災保険 その他 火災保険への加入 ※要 ・不要 保険期間 ※工事着手日から工事目的物引き渡しの日まで（工期末日に概ね14日を加えた期間） ・その他（ ） 保険金額 ※建設工事請負契約額以上 ・その他（ ）		
II	建 築 工 事 仕 様 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」令和4年版【令和4年3月改定】及び同監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」令和4年版【令和4年3月改定】（以下「標準仕様書」という。）による。 2. 項目は○印のついたものを適用する。 3. 特記事項は○印のついたものを適用し、○印のない場合は※印のあるものを適用する。 ・印と※印の両方に○がついている場合は共に適用する。 4. 取消線で打ち消した部分については適用しない。 5. 項目欄（ ）内の表示番号は標準仕様書の当該項目を示す。		11 施工条件 (1.3.5)	施工条件 ※別紙「現場説明書」による	24 建設業退職金共済制度 ※建設労働者の勤務条件改善のため「建設業退職金共済組合」等に参加すること。 ※共済証紙は金融機関で退職金共済契約者証を提出し、相当額の証紙を購入して、その掛金収納書の一部を契約時に提出すること。なお、余剰証紙がある場合は使用を認めるが、余剰分を使用する場合でも1日以上購入すること。余剰証紙を使用する場合は掛金収納書の一部と合わせて証紙購入・払出記録簿又はこれに代わるものの写しを提出すること。 ※建設業退職金共済制度に関する指示については、別紙「工事特記事項（共通編）」による		
章	項	目	特 記 事 項				
1 各 章 共 通 事 項	1 一般事項 (1.1.1)	1節 共通事項 ※設計図書の優先順位は、質問回答書、現場説明書、特記仕様書、別冊の図面、標準仕様書の順とする。	14 現場代理人	※現場代理人は、工事現場に常駐すること。 ただし、工事現場において作業等が行われていない期間で発注者との連絡体制が確保されると監督員が認めた場合は常駐を要しない。			
	2 官公署その他への届出手続等 (1.1.3)	※工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等は滞りなく行い、その費用は全て受注者の負担とする。	15 県産品等の優先使用	4節 材料 ※別紙「工事特記事項（共通編）」による 「単価表等」への記載にかかわらず、コンクリート、砕石類（西年表建設部管内を除く）、アスファルト、山砂の類は『県産品建設資材』とし、再生砕石類（再生砕石、再生砂）は『県産品の「和歌山県認定リサイクル製品」』とする。 その他の資材の『県産品建設資材』又は『県産品の「和歌山県認定リサイクル製品」』の選定・使用は、「内訳書等」による。 ※山砂の類とは山砂、川砂、洗い砂をいう。 ※一般資材において、規格・品質が条件を満足するものについては、グリーン購入推進方針における品目の優先使用に努めるものとする。			
	3 工事実情情報システム (CORINS) への登録 (1.1.4)	※登録する（ただし、工事請負額が500万円未満の工事については不要）	16 県内調達に関する事項	※別紙「工事特記事項（共通編）」による			
	4 立面の書き及び取扱い (1.1.5)	施工体制合帳及び施工体系図 ※作成する	17 技能士 (1.5.2)	5節 施工 一級技能士又は単一等級の資格を有する者（職業能力開発促進法）又はそれらと同等以上の技能士の適用は次の工事とする。 鉄筋工事 ・鉄筋施工（鉄筋加工組立て作業） コンクリート工事 ・型枠施工 ・コンクリート圧送施工 鉄骨工事 ・とび ブロック・ALCパネル工事 ・ブロック建築 ・ALCパネル施工 防水工事 ・アスファルト防水 ・合成ゴムシート防水 ・塩化ビニル系シート防水 ・アクリルゴム系塗膜防水 ・シーリング防水 ・ウレタンゴム系塗膜防水 石工事 ・石材施工（石張り） タイル工事 ・タイル張り 木工事 ・建築大工 屋根及びとい工事 ・建築板金（内外装板金） ・スレート施工 金属工事 ・内装仕上げ施工（鋼製下地工事） 左官工事 ・左官 建具工事 ・建具製作 ・サッシ施工 カーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工（PC） ・サッシ施工 ・ガラス施工 塗装工事 ・塗装（・建築塗装 ・木工塗装 ・金属塗装） 内装工事 ・プラスチック系床仕上げ ・カーペット系床仕上げ ・ボード仕上げ ・畳製作 ・表装（・壁装作業 ・表具作業） 植栽工事 ・造園			
	5 設計図書等の取扱い (1.1.6)	※設計図書、工事関係図書（「設計図書等」という。本項目において以下同じ）の電子データ及び印刷物を適正に管理し、設計図書等の内容について、工事の施工に携わらない第三者への流出防止措置を図ること。 また、工事の施工に伴うすべての関係者に對し、流出防止措置について周知徹底を図ること。 なお、盗難や紛失などを含め、設計図書等の内容が工事の施工に携わらない第三者へ流出した場合又は流出した可能性がある場合は、速やかに発注者に届け出ると共に、原因を明確にし、再発防止措置を講じること。 ※標榜型政策メール等によるサイバー攻撃により本工事に係る情報が漏洩することのないよう、情報保全措置を適切に講ずること。 なお、情報源渡のおそれが生じた場合は当該情報の機密性の程度に関わらず、その事実を速やかに監督職員へ報告するとともに原因の究明及び適切な対応に努めること。 ※工事中及び工事完成後における設計図書等の電子データ及び印刷物の管理は、特に以下について厳守すること。 工事中の電子データ管理 インターネットでの不正アクセス等にさらされない状態で使用すること。 下請業者等へのデータ提供は必要最低限で行い、上記の状況で使用させること。 工事中の印刷物管理 現場事務所等の適切な場所で管理し、原則外部への持ち出しは行わない。 不必要となったものは、破砕等を行い、判別できない状態で処分すること。 下請け業者等にも同様の指導をすること。 工事完成後の電子データ管理 請負業者で保管するものは、CD等で保管し、インターネットでの不正アクセス等にさらされない状態で保管すること。 上記以外のものは、適正に消去処分すること。 下請業者等にも同様の指導をすること。 工事完成後の印刷物管理 請負業者で保管するものは、適切に管理できる場所に保管すること。 上記以外のものは、破砕等を行い、判別できない状態で処分すること。 下請業者等にも同様の指導をすること。	18 施工の検査等 (1-5-5)	見本施工の実施 ・実施する ・実施しない			
	6 関連工事等の調整 (1.1.7)	※契約書に基づく関連工事及び設計図面に明示された他の発注者の発注に係る工事について、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに、工事全体の円滑な施工に努める。 設備工事との施工区分 ・RC造等の図示した貫通孔の補強及び開口部の補強（設備用のスリーブ及び箱入れは除く） ※本工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・その他（ ） ・鉄骨部分の貫通スリーブの設置及び補強 ※本工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・その他（ ） ・照明器具等の、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・本工事 ※電気設備工事 ※機械設備工事 ・その他（ ） ・防火戸の自動閉鎖装置取付け箇所の切り込み及び補強 ※本工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・その他（ ） ・駆動装置が電動による建具箱の2次配線及び操作スイッチ ※本工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・その他（ ） ・屋上に設置する場合の設備機器の基礎（架台、アンカーボルト除く） ※本工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・その他（ ） ・その他（ ） ※本工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・その他（ ）	19 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定 ※実施する（・事前事後共 ・事後のみ） ○ 実施しない 実施する場合の測定対象の化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※パラジクロロベンゼン ※エチルベンゼン ※スチレン 測定方法に関する基準 ・「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（国営建第1号平成15年4月1日）による ・「学校における室内空気汚染対策について」（H15学健第11号平成15年7月4日）による ・その他（ ） 測定対象室及び測定箇所数 ※図示による ※測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。	3 土 工 事	2節 根切り等 埋戻し及び盛土の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ※再生コンクリート砂（D種）を使用する場合は1購入先あたり1袋体の六価クロム溶出試験を行うものとする。 2 建設発生土の処理 (3.2.5) ※横外搬出（「建設発生土の処分場指定に関する要綱（和歌山県県土整備部）」に基づく指定処分場） ただし、契約後工事間利用調整の結果、他の工事箇所へ変更し運搬する場合には契約変更の対象とする。 ・横外搬出（他工事に活用） ・構内に敷き均し ・構内にたい積 3 埋立て等の不適正処理防止に係る土壤検査 「和歌山県建設発生土管理基準（和歌山県県土整備部）」に基づく土壤検査 ・必要（ 方所） ・不要	
	7 実施工程表 (1.2.1)	2節 工事関係図書 ・概成工期 年 月 日	20 技術検査 (1-6-2)	6節 工事検査及び技術検査 ・中間技術検査（実施回数 回、実施段階 ）」	2 地 業 工 事	1 試験杭 (4.2.2)	2節 試験及び報告書 試験杭の位置、本数及び寸法 ※図示による
	8 施工計画書 (1.2.2)	※別紙「工事特記事項（共通編）」による	21 完成時の提出図書等 (1.7.1) (1.7.2) (1.7.3)	7節 完成図等 完成図 ※提出する（電子データはCD等で提出） ・提出しない 製本（原図サイズ 部） 係員の指示による CADデータ（JWW形式又はDXF形式） PDF形式のデータ（図面1枚につき、1ファイルとなるよう作成） 施工図 ・提出する（内容は監督員の指示による） ・提出しない 保全に関する資料 ※提出する（電子データの提出は監督員の指示による） ・提出しない		2 杭の載荷試験 (4.2.3)	杭の載荷試験 ・行う ・行わない ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 試験杭の位置、本数及び載荷重 ※図示による 報告書の記載事項 ※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」による
	9 工事の記録等 (1.2.4)	※監督員の指示により、工事着手前、施工中、完成時の工事写真を提出する。 （参考：登録工事写真撮影要領（令和5年版）・工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編（平成30年版）） ※デジタル工事写真の小黒板情報電子化の取り扱いは、別紙「工事特記事項（共通編）」による。	22 工事完成写真	※提出する（電子データ） ・提出しない 「9 工事の記録」による完成時の工事写真とは別に、4枚以上撮影し提出する。 撮影箇所は、監督員の指示による。 撮影は、人物やゴミ等の雜物が入らないようにする。 デジタルカメラ等の絵画素数は500万画素以上とし、CD等で提出する。			

<p>hana*class http://www.hana-class.com</p>	<p>中津小学校プール床 改修工事</p>	<p>2025. 09</p>
<p>1級建築士 大臣登録 第284403号 佐原 光治 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第（リ）130-3号</p>	<p>特記仕様書（1）</p>	<p>A-01</p>

9 防 水 工 事	1 材料 (9.2.2)	2節 アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※図示による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※図示による 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 30×15×2.0 (mm) 程度 ※その他 () 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の厚さ ※図示による 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ※図示による 絶縁用シートに使用する材料 ※図示による 立上り部の保護の乾式保護材 ※図示による 立上り部の保護のれんが ※図示による	15 保証規定	その他 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 保証期間 ※工事引渡し後 10年間 ※工事引渡し後 () 年間	16 建 具 工 事	1 防火戸 (16.1.3)	1節 一般事項 防火戸の指定 ※図示による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる場合 ※図示による
	2 防水層の種類、種別及び工程 (9.2.3)	防水層の工法による種別 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3 ・B-1 ・B-2 ・B1-1 ・B1-2 ・D-1 ・D-2 ・D1-1 ・D1-2 ・E-1 ・E-2 立上り部における保護工法 ※図示による 立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置 ※図示による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法 脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング系の製造所の指定 ※その他 () 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による 屋内防水密着工法 保護層を設ける場合 ※図示による E-1の工程3を行う場合 ※図示による	1 材料 (13.2.2)	2節 長尺金属板葺 長尺金属板の種類に応じた板及びコイルの種類、塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等 ※図示による 下葺材料の種類 ※図示による		2 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本 ・製作する ・製作しない 特殊な建具の仮組 ・実施する ・実施しない
	3 施工 (9.2.4)	下地がモルタル塗りの場合の適用箇所 ※図示による 立上り ※図示による 屋根露出防水絶縁断熱工法のルーフトレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による	2 工法 (13.2.3)	屋根葺形式 ※図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 屋根葺形式に応じた、葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等 ※図示による 横葺の場合のけらばの適用 ・つかみ込み納め ・けらば包み納め 当止め ・設ける ・設けない		3 その他 (16.1.6)	防犯建物部品の適用 ※図示による
	4 保護層等の施工 (9.2.5)	平場の保護コンクリートの厚さ ※図示による 立上り部の保護工法 ※図示による れんが押えの施工 ※図示による 屋上排水溝の設置 ※図示による	3 材料 (13.3.2)	3節 折板葺 折板の形式・山高・山ピッチ、耐力及び材料による区分並びに厚さ ※図示による 折板に使用する材料の材質の種類 ※図示による		4 性能及び構造 (16.2.2)	2節 アルミニウム製建具 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法 ※図示による 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ※図示による 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※図示による 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ※図示による
	5 材料 (9.3.2)	3節 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※図示による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※図示による 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 30×15×2.0 (mm) 程度 ※その他 () 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ※図示による	4 工法 (13.3.3)	軒先面戸板 ・使用する ・使用しない 折板に、断熱材張りを行う場合、断熱材の種類、厚さ、防火性能等 ※図示による		5 材料 (16.2.3)	防虫網の材質、線径及び網目 ※図示による 防鳥網の適用 ※図示による
	6 防水層の種別及び工程 (9.3.3)	防水層の工法による種別 ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS1-T1 ・AS1-J1 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ※その他 () 屋根露出防水絶縁断熱工法における防湿用シートの設置 ※図示による 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による	5 材料 (13.4.2)	4節 路土瓦葺 粘土瓦 種類、大きさ、座地等 ※図示による 役物瓦の種類、止め瓦の使用等 ※図示による JISA5208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない 瓦葺木の材質、寸法等 ※図示による 棟葺強用心材の材質、寸法 ※図示による 瓦緊結用釘又はねじの種類、径及び長さ ※図示による 棟葺強等を使用する金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示による		6 形状及び仕上げ (16.2.4)	建具の枠の見込み寸法 ※図示による アルミニウムの表面処理の種類、標準色・特注色の別等 ※図示による 結露水の処理方法 ※図示による
	7 材料 (9.4.2)	4節 合成高分子系ルーフィングシート防水 ルーフィングシートの種類及び厚さ ※図示による 可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ※その他 () 固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、 厚さ0.4mm以上のもの ※その他 () 断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ※図示による	6 工法 (13.4.3)	建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等の工法 ※図示による 瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値 ※図示による 棟木の留付け工法 ※図示による 棟の工法 ・フツ丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟 ・のし積み棟 面戸、雀口、墓土の露出する瓦接合部の仕上げ ・モルタル ・瓦葺き用しつくい		7 材料 (16.3.3)	ガラス ※複層ガラス ※その他 ()
	8 防水層の種類及び工程 (9.4.3)	防水層の工法による種別 ・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2 ・S-C1 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ※その他 () 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による 断熱工法における防湿用フィルムの設置 ※図示による S-C1の工程4の保護モルタルの塗厚 ※図示による	7 材料 (13.5.2)	5節 とい といその他の材種等 ※図示による とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※図示による		8 性能及び構造 (16.3.2)	4節 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用 ※図示による 外部に面する建具の耐風圧性の等級 ※図示による
	9 施工 (9.4.4)	接着工法の場合の目地処理でプレキャストコンクリート下地の場合 ※図示による 種別S-F1又はS1-F1の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ※図示による 一般部のルーフィングシートの張付けを機械的固定方法で行う場合の建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ※その他 ()	8 工法 (13.5.3)	銅管製といの防露巻き ※図示による		9 材料 (16.3.3)	ガラス ※複層ガラス ※その他 ()
	10 防水層の種別及び工程 (9.5.3)	5節 塗膜防水 ウレタンゴム系塗膜防水 防水層の工法による種別 ・X-1 ・X-2 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による 種別X-1における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ※その他 () ・ゴムアスファルト系塗膜防水 防水層の種類 ・Y-1 ・Y-2 種別Y-2における工程5の保護層の仕様 ・保護コンクリート ・保護モルタル	1 材料 (14.2.1)	2節 表面処理 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種 C種の表面処理で常温乾炭形の塗装の場合 ※図示による 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ※その他 () 色合等 ※図示による		10 形状及び仕上げ (16.3.4)	建具の枠の見込み寸法 ※図示による 表面色 ・標準色 ・特注色
	11 施工 (9.6.4)	6節 ケイ酸質系塗布防水 壁及び天井部の防水層の下地 ※図示による 防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理 ※図示による その他の下地処理 ※図示による	2 鉄筋の垂鉛めっき (14.2.2)	鉄筋の垂鉛めっきの種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種		11 性能及び構造 (16.4.2)	5節 鋼製軽骨建具 簡易気密型ドアセットの適用 ※図示による
	12 材料 (9.7.2)	7節 シーリング シーリング材の種類及び施工箇所 ※図示による シーリング材表面に仕上げを行わない場合 ※図示による	3 材料 (14.4.2)	3節 軽骨鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋内 ※19形 ・25形 屋外 ・19形 ※25形		12 材料 (16.4.3)	点検口の類 ※図示による
	13 目地寸法 (9.7.3)	シーリング材の目地寸法 ※図示による	4 形式及び寸法 (14.4.3)	4節 野縁の野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔並びに周辺部の端からの距離 ※図示による 屋外の場合の野縁の間隔 ※図示による		12 形状及び仕上げ (16.4.4)	銅板類の厚さ ※図示による
	14 シーリング材の試験 (9.7.5)	接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	5 工法 (14.4.4)	つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による 天井のふところが3mを超える場合の補強方法 ※図示による 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※図示による 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による		13 性能及び構造 (16.5.2)	6節 ステンレス製建具 ステンレス銅板の種類 ※図示による
			6 形式及び寸法 (14.5.3)	5節 軽骨鉄骨壁下地 スタッド、ランナ等の種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 スタッドの高さが5mを超える場合のスタッド、ランナ等の種類 ※図示による		14 材料 (16.5.3)	銅板類の種類 ※図示による 召合せ、短小口包み板等の材質 ※銅板 ・ステンレス銅板 ・アルミニウム合金
			7 工法 (14.5.4)	出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※図示による		15 形状及び仕上げ (16.5.4)	銅板類の厚さ ※図示による
			8 材料 (14.6.2)	6節 金属成形板張り 金属成形板の種類及び表面処理 ※図示による		16 材料 (16.6.3)	表面仕上げ ※HL ※その他 ()
			9 工法 (14.6.3)	取付け用下地 ※図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 ※図示による		17 形状及び仕上げ (16.6.4)	ステンレス銅板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
			10 材料 (14.7.2)	7節 アルミニウム製笠木 アルミニウム製笠木の部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 笠木本体の材料の表面処理の種類 ※図示による		18 工法 (16.6.5)	7節 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率の種別 ※A種 ・B種 フラッシュ戸の表面材の種類と適用 ※図示による 表面材の品質等、材料のホルムアルデヒド放散量等 ※図示による ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) の表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、 接着剤による区分及び難燃性による区分 ※図示による かまち及び鉛板の樹脂 ※図示による ふすまの材料の種類 ・I型 ・II型 ふすま紙の上張りの種類 ※図示による 枠及びくつずりの材料 ※図示による
			11 工法 (14.7.3)	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による		19 材料 (16.7.2)	8節 建具用金物 既製金物又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のものを ※建具の製造所の仕様 ※その他 ()
						20 形状及び仕上げ (16.7.3)	フラッシュ戸の表面板の厚さ ※図示による 各木製建具の見込み寸法 ※図示による
						21 工法 (16.7.4)	フラッシュ戸の工法で引戸の定規縁の召合せかまちをいんろう付きとする場合 ※図示による ふすまの縁の仕上げ ※図示による
						22 一般事項 (16.8.1)	
						23 材質、形状及び寸法 (16.8.2)	金物の種類及び見え掛け部の材質 ※図示による 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※図示による 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※図示による 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※図示による 木製建具用の戸車及びレール ※図示による
						24 取付け施工 (16.8.3)	握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレーセント等の取付け位置 ※図示による
						25 鍵 (16.8.4)	マスターキー ・製作する ・製作しない 鍵の製作本数等 ※図示による

改修5 建具 改修工事	1節 共通事項 1 改修工法（5.1.3）	既存建具を新規建具に改修する場合の工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法 新規に建具を設置する場合における、新規建具を設ける壁部分の開口の開け方及び新規建具周囲の補修工法並びにその範囲 ※図示による
	その他 2 その他	※「16建具工事」による
	改修6 内装 改修工事	1節 共通事項 1 他の部位との取合い等（6.1.3） 2節 既存床の撤去及び下地補修 2 工法（6.2.2） 3節 既存壁の撤去及び下地補修 3 工法（6.3.2） 6節 軽量鉄骨天井下地 4 工法（6.6.4） 11節 フローリング張り 5 現場塗装仕上げ（6.11.6） その他 6 その他
改修7 塗装 改修工事	2節 下地調整 1 施工一般（7.2.1） 2 各部の下地調整（7.2.2） （7.2.3） （7.2.4） （7.2.5） （7.2.6） （7.2.7） 4節 錆止め塗料塗り 3 塗料種別（7.4.2）	R B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分除去 ・その他（ ） 各系地面の下地調整の種別 木部 ・R A種 ・R B種 ・R C種 鉄鋼面 ・R A種 ※R B種 ・R C種 亜鉛めっき鋼面 ・R A種 ※R B種 ・R C種 モルタル面及びせっこうプラスター面 ・R A種 ※R B種 ・R C種 コンクリート面及びA L Cパネル面 ・R A種 ※R B種 ・R C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・R A種 ・R B種 ・R C種 せっこうボード面及びその他ボード面 ・R A種 ※R B種 ・R C種 モルタル面、プラスター面、コンクリート面、A L Cパネル面及び押出成形セメント板面のひび割れ部の補修 ※図示による 鉄鋼面の錆止め塗料の種別 合成樹脂調合ペイント塗り（S O P）の場合 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 耐候性塗料塗り（D P）の場合 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別 合成樹脂調合ペイント塗り（S O P）の場合 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 耐候性塗料塗り（D P）の場合 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 ・E種 鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種 耐候性塗料塗りの場合の鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種
	4 錆止め塗料塗り（7.4.3） 5 各塗り等の種別（7.5.2） （7.5.3） （7.5.4） （7.6.2） （7.7.2） （7.8.2） （7.8.3） （7.8.4） （7.9.2） （7.9.3） （7.9.4） （7.9.5） （7.10.2） （7.11.2） （7.12.2） （7.13.2） その他 5 その他	各塗り等の種別 木部合成樹脂調合ペイント塗り（S O P） ・A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面の合成樹脂調合ペイント塗り（S O P） ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面の合成樹脂調合ペイント塗り（S O P） ・A種 ・B種 ・C種 クリヤラッカー塗り（C L） ・A種（着色に用いる塗料は図示による） ※B種 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（N A D） ・A種 ※B種 鉄鋼面耐候性塗料塗り（D P）の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗り（D P）の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り（D P） ・A－1種 ・A－2種 ・B－1種 ・B－2種 ・C－1種 ・C－2種 コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め ・図示による 屋内の木部のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ・B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ※A種 ・B種 ・C種 合成樹脂エマルションペイント塗り（E P） ・A種 ※B種 ・C種 ウレタン樹脂ワニス塗り（U C） ・A種 ※B種 オイルステイン塗り（O S）の塗料 ※図示による 木材保護塗料塗り（W P） ・A種 ※B種
	改修3 防水 改修工事	1節 共通事項 1 施工一般（3.1.3） 2 改修工法の種類及び工程等（3.1.4） （3.2.5） （3.2.6） （3.3.2） （3.3.3） （3.3.4） （3.3.5） （3.4.2） （3.4.3） （3.4.4） （3.5.2） （3.5.3） （3.5.4） （3.6.3） （3.7.2） （3.7.3） （3.7.7） （3.7.8） 8節 とい 3 材料（3.8.2） 4 工法（3.8.3） 9節 アルミニウム製笠木 5 材料（3.9.2） 工法（3.9.3） その他 6 その他

18 塗 装 工 事	26 性能（16.9.2） 27 機構（16.9.3） 28 性能等（16.10.3） 29 形式及び機構（16.11.2） 30 材料（16.11.3） 31 形式及び機構（16.12.2） 32 材料（16.12.3） 33 形状及び仕上げ（16.12.4） 34 形式及び機構（16.13.2） 35 材料（16.13.3） 36 材料（16.14.2） 37 ガラス溝の寸法、形状等（16.14.3） 38 ガラスブロック積み（16.14.5）	9節 自動ドア開閉装置 駆動装置の性能値 ※図示による 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能値 ・図示による 検出装置の性能 ※図示による 戸の開閉方式 ※図示による 引き戸用検出装置の種類 ※図示による 凍結防止措置を行う場合 ※図示による 10節 自閉式上吊り引戸装置 自閉式上吊り引戸装置の性能 ・図示による 11節 重量シャッター シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ※図示による 開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式 電動式シャッターの急降下制動装置又は急降下停止装置の設置箇所 ※図示による 電動式シャッターの障害物感知装置の設置箇所 ※図示による 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの設置箇所 ※図示による シャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鉄板の種類及びめっきの付着量 ※図示による 12節 軽量シャッター 開閉方式の種類 ・電動式（手動併用） ※手動式 耐風圧強度 ※図示による スラットの材質の種類及びめっきの付着量 ※図示による スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 13節 オーバーヘッドドア セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ 耐風圧性能の区分 ※図示による 開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・パーチカル形 ガイドレールに使用する材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 14節 ガラス 板ガラスの種類、品種及び厚さ等 ※図示による ガラス割め材の種類 ・シーリング（種類記号： ） ・ガスケット（種類記号： ） 板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※建具の製造所の仕様 ・その他（ ） ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ ※図示による 壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨の材質、寸法及び形状 ・図示による 化粧目地モルタルの色 ※図示による シーリング材の種類 ※図示による 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ※図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による ガラスブロックの目地幅の寸法 ・図示による 伸縮調整目地の位置 ・図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロックの製造所の仕様 ・その他（ ）	改修1 各章共通事項 改修2 仮設工事 改修3 防水改修工事	(18.5.2) (18.6.2) (18.7.2) (18.7.3) (18.7.4) (18.8.2) (18.8.4) (18.9.2) (18.10.2) (18.11.2) (18.12.2) 3節 工事現場管理 1 施工条件（1.3.5） 5節 石綿含有建材の調査 2 事前調査（1.5.1） 6節 施工調査 3 施工数量調査（1.6.2） 4 調査のための破壊部分の補修（1.6.3） その他 5 その他 2節 足場等 1 足場等（2.2.1） 3節 養生 2 既存部分の養生（2.3.1） 3 仮設間仕切り（2.3.2） その他 4 その他 1節 共通事項 1 施工一般（3.1.3） 2 改修工法の種類及び工程等（3.1.4） （3.2.5） （3.2.6） （3.3.2） （3.3.3） （3.3.4） （3.3.5） （3.4.2） （3.4.3） （3.4.4） （3.5.2） （3.5.3） （3.5.4） （3.6.3） （3.7.2） （3.7.3） （3.7.7） （3.7.8） 8節 とい 3 材料（3.8.2） 4 工法（3.8.3） 9節 アルミニウム製笠木 5 材料（3.9.2） 工法（3.9.3） その他 6 その他	クリヤラッカー塗り（C L） ・A種 ※B種 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（N A D） ・A種 ※B種 鉄鋼面の耐候性塗料塗り（D P）の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗り（D P）の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り（D P） ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等のつや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ※B種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E P－G） ・A種 ※B種 合成樹脂エマルションペイント塗り（E P） ・A種 ※B種 ウレタン樹脂ワニス塗り（U C） ・A種 ※B種 工程1の着色の適用 ※図示による オイルステイン塗り（O S）の塗料 ※図示による 木材保護塗料塗り（W P） ・A種 ※B種 石綿含有建材の事前調査 ※有り ・無し 石綿含有建材の調査範囲 ※本工事の範囲 ・図示による 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ※有り ・無し 分析による石綿含有の調査 ・実施する ・実施しない 実施する場合の分析方法 ・定性分析 ・定量分析 施工数量調査の調査範囲及び調査方法 ※本工事の対象範囲及び周辺状況について、目視等により行う 施工数量調査で、既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※監督員の指示による ※「1各章共通事項」による 外部足場、防護シート等の設置 ・設置する（※図示による） ・設置しない 内部足場の設置 ・図示による 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 既存部分の養生 ・図示による 既存部分における既存家具、既存設備等の養生方法 ・図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生方法、保管場所等 ※監督員の指示による 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ※図示による 屋内に仮設間仕切りを設ける場合の設置箇所 ※図示による 種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種及びB種の場合 合板の材種 ※図示による 合板の厚さ ※9mm ・その他（ ） せっこうボードの種類 ※図示による せっこうボードの厚さ ※9.5mm ・その他（ ） 塗装等の仕上げを行う場合 ※図示による 仮設屋の設置箇所 ※図示による 仕様 ※合板張り木製屏程度 ・その他（ ） ※「2仮設工事」による	改修5 建具 改修工事 改修6 内装 改修工事 改修7 塗装 改修工事
------------------------	--	---	---	---	--	---



ガードフェンス H1,800×W=1,800

Ⓔ

交通誘導員配置（適時）

特記事項

1、仮設便所を設け、位置については監督職員と協議の上決定すること。

2、仮用い位置及び資材置き場については現場確認し仮設計画図にて係員の承諾を得ること。

3、児童の動線確認及び現状の駐車場の車両考慮し安全計画には十分注意すること

仮 設 配 置 図 S=1/300

hana*class

http://www.hana-class.com

和歌山県有田市辻堂70-2 TEL 0737-82-5083

中津小学校プール床 改修工事

2025.09

配 置 図

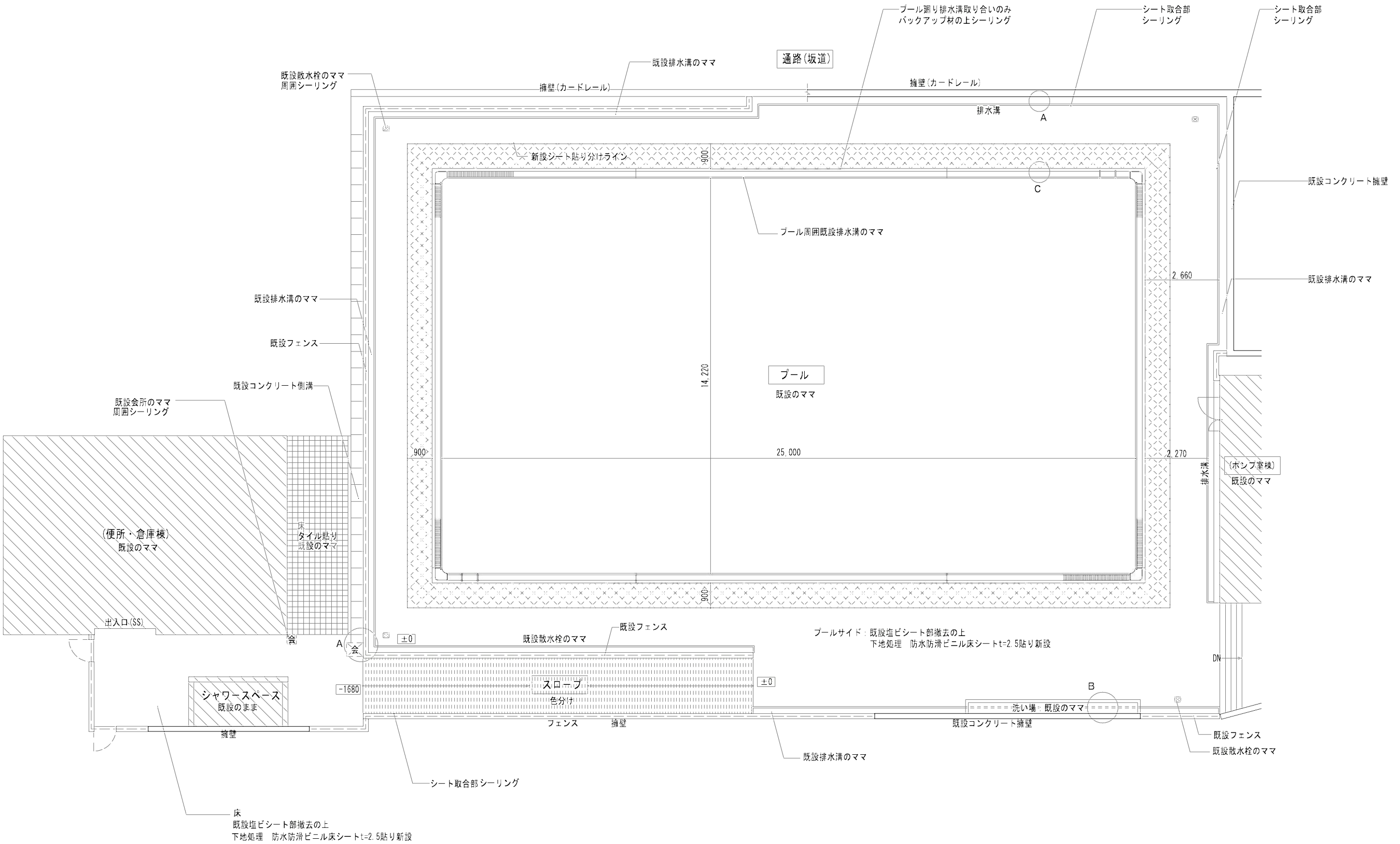
<A2>:1:300

<A3>:1:300×71%

1級建築士 大臣登録 第284403号 佐原 光治

1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第（リ）130-3号

A-04



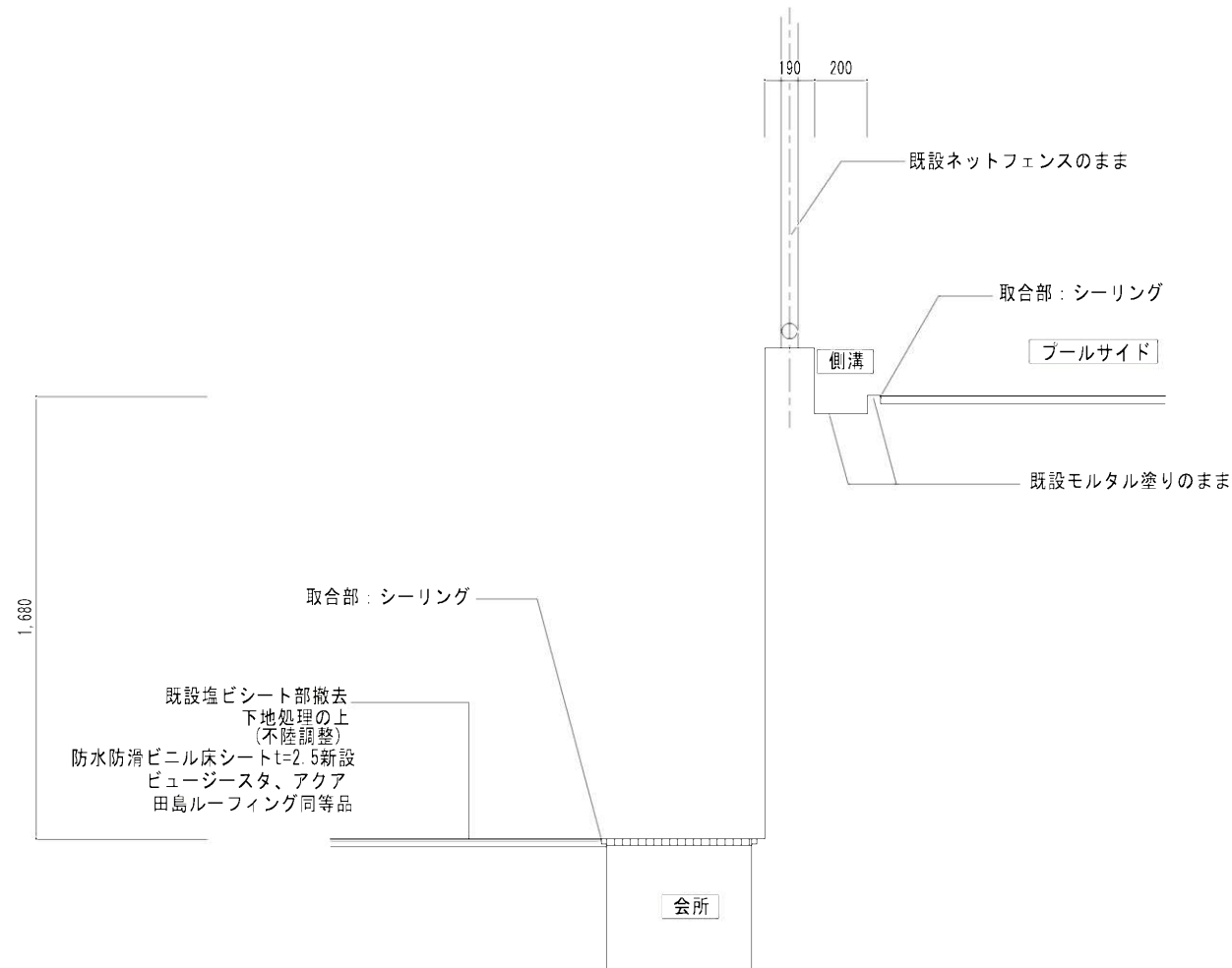
プール平面図 S=1/100

※プールサイド：既設塩ビシート部撤去の上防水防滑ビニル床シートt=2.5新設
（ビュージースタ、アクア 田島ルーフィング同等品）
既設塩ビシート撤去時は下地モルタルを撤去、破損等をしないことと

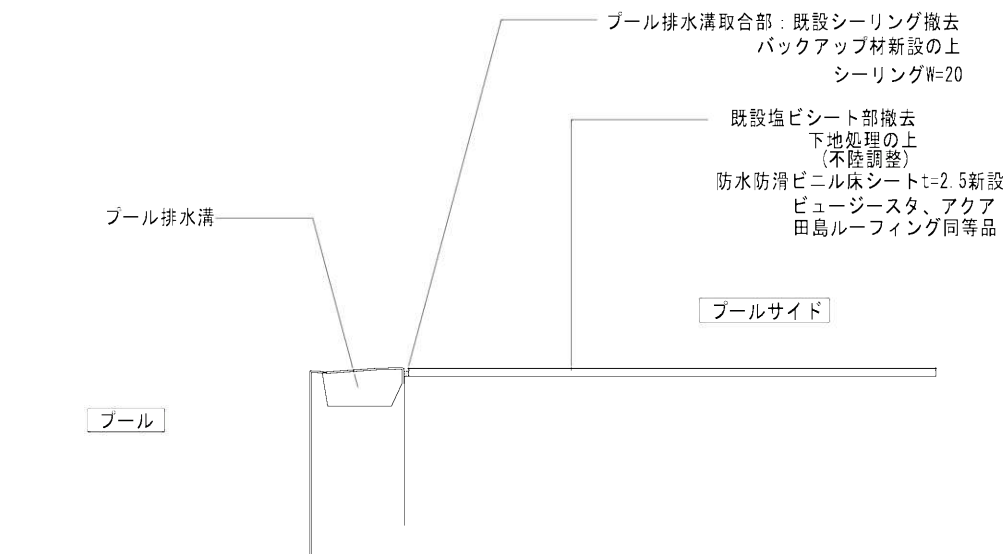
※新設塩ビシート取合部：既設シール撤去の上シーリング 変成シリコン系
※既設塩ビシート部以外は既設のママ （VGシールMS 田島ルーフィング同等品）

hana*class		http://www.hana-class.com	
和歌山県有田市辻堂70-2 TEL 0737-82-5083			
中津小学校プール床 改修工事			2025.09
平面図			<A2>:1:100 <A3>:1:100×71%
1級建築士 大臣登録 第284403号 佐原 光治 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130-3号			A-05

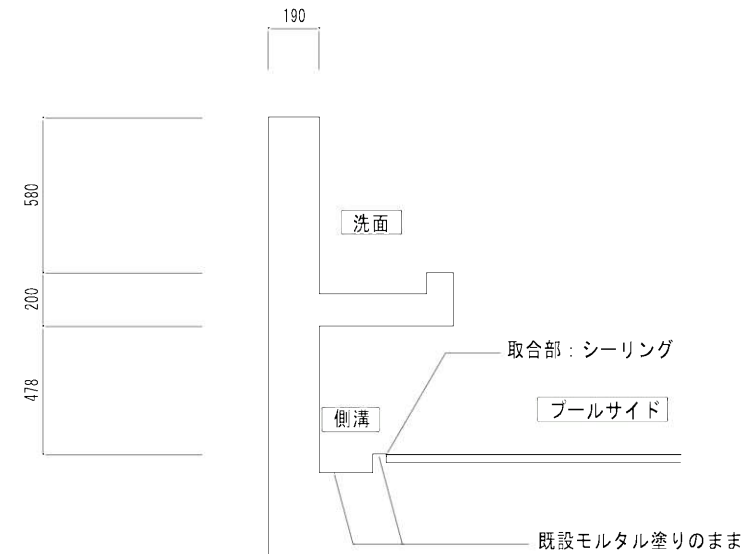
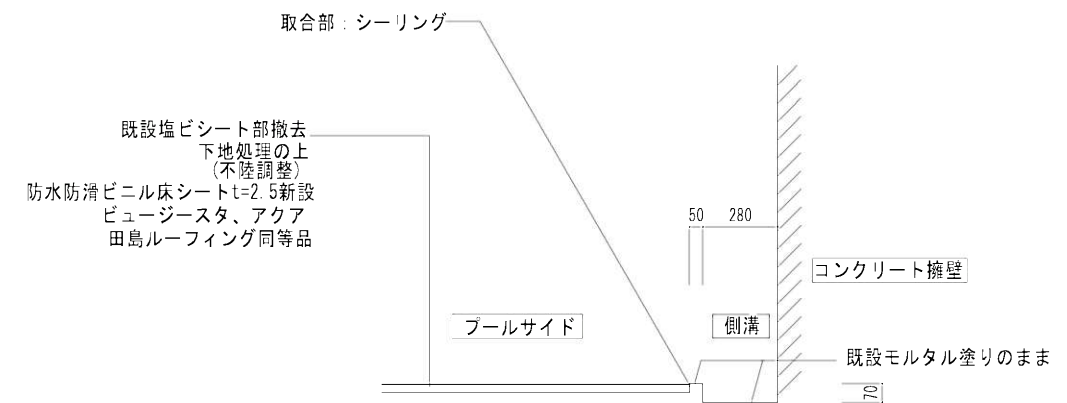
A 断面図 $S=1/20$



C 断面图 $S=1/20$



A 断面図 $S=1/20$

D 断面图 $S=1/20$ 

共通事項
既設塩ビシート撤去時は下地モルタルを撤去、破損等をしないこと

hana*class		http://www.hana-class.com	
和歌山県有田市辻堂70-2 TEL 0737-82-5083			
中津小学校プール床 改修工事			2025.09
断面図			$\langle A2 \rangle : 1:20$ $\langle A3 \rangle : 1:20 \times 71\%$
1級建築士 大臣登録 第284403号		佐原 光治	
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130-3号		A-06	